

令和3年度第2回三重県医療審議会 議事概要

日時：令和4年3月28日（月）18：00～19：30

形式：WEB開催

出席者：伊藤委員（会長）、大杉委員、齋藤委員、竹田委員、谷委員、谷口委員、二井委員、西井委員、菱沼委員、前田委員、山下委員

1 議事

各資料に基づき事務局が説明

- (1) 各部会の報告について
- (2) 第7次三重県医療計画の進捗状況について
- (3) 地域医療構想の進捗状況について
- (4) その他 次期医療計画について

2 質疑等

- (1) 各部会の報告について（資料1）

《質疑なし》

- (2) 第7次三重県医療計画の進捗状況について（資料2）

《質疑なし》

- (3) 地域医療構想の進捗状況について（資料3、参考資料1・2）

コロナが起こって、1 構想区域で完結できない医療があるということを痛切に感じた。今の地域医療構想は構想区域単位で、将来どうあるかを考えているが、それだけでは今後いろんなことが起こったときにやっていけない。もう少し広域で将来構想を考えるアイデアを出していただきたい。

三重県は構想区域単位で地域に密着した議論ができた一方で、そこにはない医療機能もある。もともと感染症の医療は全県で考えていた部分があり、感染症の考え方は今後国から一定の方向性が示されると思うが、三重県のように南北に長い地理的な部分をどう踏まえるかは独自に考えていけないといけない。そういう議論をどういう会議、関係者で議論していくのかも考えていきたい。

以前に具体的対応方針の再検証を求められた公立・公的等医療機関が全国で400以上あり、三重県内にも存在するが、そういった医療機関はコロナ禍で非常に頑張っていたら助かった面もある。国が再検証を要請した病院に関しては、どのように考えているのか。

国も公立・公的等医療機関が今回のコロナ禍で果たしてきた役割は非常に重要なものがあったということは認識したうえで、令和4、令和5年度において、新型コロナウイルス感染症への対応も踏まえながら、改めて民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証見直しを行うよう要請がなされた。

今回の国の通知を受けて、どのような形で協議をしていくべきか、また関係者の方々と相談しながら進めていくことになるが、その再検証の必要があるとされた5病院に関しても、しっかりと地域医療構想調整会議等を通じて議論をしていきたい。

再編・統合ありきで考えることはない。この5病院に限らず、コロナで果たしていただいた役割も踏まえて、具体的対応方針をしっかりと決めていく

県民を守っていくという考え方で、三重県としてしっかり対応していただきたい。

(4) その他 次期医療計画について(資料4)
《質疑なし》